



### 阿蘇神社の御神前

—左右の柱の稲束は懸税(かけぢから)という—



平成16年1月1日  
第34号

発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名862  
☎ 0957-43-5235

## 年頭偶感

阿蘇神社

宮司大 島 大明

平成十六年の新春を言祝ぎ謹んで氏子崇敬者皆様のご多祥を祈念申し上げます。

今年の干支は「甲申<sup>まゐさき</sup>」。十二支

の動物としては、猿が当てられています。猿は古代から人間生活の中に密接に関わっており、人に役立つ働きをするため擬人的にも扱われています。桃太郎のお供をして鬼退治に行った猿、また猿蟹合戦ではいたずら者として悪者とされるなど、猿にまつわる話は全国各地に多く伝えられています。見

ざる・聞かざる・言わざるの三猿は有名ですが、腹などを隠して見せざるという四猿、五猿などもあると云われます。

猿を神のお使いとする神社は日吉神社、日枝神社の系統で、神猿として猿を飼っている神社もあります。昔は厩舎の守りとして、飼われたことから、現在でも厩舎の守護神として祀られます。またサル(去る)という言葉から魔除け・災難除けとして玄関に猿の面や像を置くこともあるようです。

### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

一、世のため人のために奉仕し、

一、大御心をいだきてむつび和らぎ、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと  
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成十五年

新嘗祭を斎行

平成十五年の新嘗祭が十一月二十三日に斎行されました。新嘗祭は新穀感謝祭とも云い、春に行つた田祈祷祭(田植え終了後の祭り)の願成就の祭りとして行われます。

神前には喜々津内で収穫された初穂・赤米・白米、蜜柑などが奉納され、また懸税(かけぢから)も揚げられました。

祭典では先ず五穀豊穰を感謝し諸産業への更なる発展を祈念する祝詞が奉呈されました。続いて宮司以下参列者が玉串を捧げて拝礼し、祭典を恙なく終了しました。

新嘗祭に際し以下の通り御奉納いただきました。御芳名を記しお礼を申し上げます。

《敬称略・順不同》

- ◇懸税◇ 草野 榮
- ◇初穂・赤米・白米◇ 草野 榮
- ◇白米◇ 長崎県神道青年会

◎祝祭日には国旗を揚げてお祝いいたしましょう

◎お正月には新しい御神札を受けて家庭に祀りましょう



一古代(赤)米の初穂殿 奉納者・草野 榮

- ◇蜜柑◇ 宮嶋茂吉、西川篤志
- ◇キウイフルーツ◇ 犬塚秀樹
- ◇初穂料◇ 関山一郎、かこい組
- 池田忠憲、JAこのうみ喜々津支所長 草野 榮、多良見町長、前山 弘、阿蘇神社奉納相撲実行委員会、富永喜志雄、小川虎彦、山口安博、(有)森商会 森 誠司、森 健志朗、山村武敏、田中義明、吉野 徹、菅崎清司、北島守幸、大黒 貴、木下 保、前田信太郎
- ◇献 酒◇親和銀行多良見支店長 坂井賢太郎、たちばな信用金庫多良見支店長 上戸伸雅、十八銀行多良見町支店長 藤田好宣、JAこのうみ喜々津支所長 草野 榮

以上

阿蘇神社と鯰

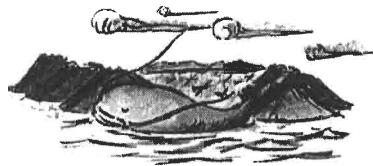
かつて神社の前に池があり、鯰池(現在は国道三四号線の拡幅のため廃池)と称されていました。

喜々津の人は鯰を大切にし、釣れても決して殺生をせず、池に放しました。古くは阿蘇神社を鯰権現と称した時代もあるほど、神社と鯰の関係は深い尊いものです。

前号で熊本の阿蘇に伝わる『阿蘇大明神の話』を紹介しましたが、今回は『鯰の話』を紹介し

ます。

鯰の話



健甞龍命が立野のスガルを蹴破ると、阿蘇谷の湖の水はごうごうと流れ出しました。ところがこの湖の主とも精ともいわれれていた大鯰が、湖の水とともに流れ出て、遠く上益城の村に流れつきました。

そこでこの村を鯰村(上益城郡嘉島町鯰)というようになったそうです。村人がこの鯰を片付けるのに六荷(天秤棒で六回分)あったの

て、この部落を六嘉(上益城郡嘉島町六嘉)といいます。また、阿蘇谷の黒川の流れが曲がりくねっているのは鯰の流れ出た跡ということです。

鯰の別の話では阿蘇谷の水は流れ出たが、中ほどに大きな木のようなもの(往生岳の麓から尾籠(阿蘇郡一の宮町尾籠)まで横たわっています。よく見ると大

鯰が往生岳にヒゲを巻き付け、尾籠に尾を引っかけています。(尾籠の字

名の起源もここからきています)そのため阿蘇谷の上半分の水は引きま

せん。大明神は「開拓のさまたげをするにくいやつ」とこの鯰を始末して焼き、

その灰が灰塚であるといわれます。灰塚は阿蘇駅と内牧駅の中ほどの北側にある丘で、本塚・北塚・灰塚と三つの丘の最も低い丘で、この塚には石はないといわれます。また鯰の霊は国造神社の神殿の右側の小さい祠に祀ってあります。

「阿蘇の神話と伝説」(宮川進編)より

# 平成十六年度節分祭

## 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(火曜日)に行われます。多良見町の迎春行事として定着した阿蘇神社の節分祭には、町内外より多くの方が一年間の福を求めて参拝されるようになりました。

申(さる) 歳生まれの皆さん、豆撒き行事には是非ご参加下さい。

### ◎ 募集要項 ◎

#### 一、日時

二月三日(火曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四〇分

二回目 午後七時三〇分

三回目 午後八時二〇分

※集合時間は袴への着替えのため、いずれも四〇分前となります。

#### 二、募集人数

各回 七名 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は七名中二名までです。

#### 三、参加料

大人 八千円

子供 五千円

記念写真・記念品を贈呈

#### 四、申込方法

住所・氏名・生年月日と希望する時間を紙に書いて、参加料を添えて社務所へお届け下さい。

袴の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに申込をお願いいたします。

家族または友達と一緒に参加を希望される方は、その旨お知らせ願います。

#### 今年の年男・年女(申歳)

平成四年生、昭和五十五年生

昭和四十三年生、昭和三十一年生

昭和十九年生、昭和七年生

大正九年生

#### ◇ 節分 ◇

節分という現在では二月の節分を指しますが、本来は春夏秋冬の四季の別れを節分といいます。立春の前日、春の節が始まる日の祓いの行事であり、鬼の侵入を防ぐため豆撒きをします。神社で拾った豆は家庭で是非お撒き下さい。

#### ① 節分祭

午後五時に社殿で神社総代他の参列のもと行われます。氏子崇敬者の全てが恙なく春を迎えることを感謝し、今年一年間の開運招福を祈願します。

#### ② 火焼神事

旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手など神社より頒布された品々を焼き納めるお祭りで、境内に臨時の祭場を設けて行います。(午後九時まで)

#### ③ 豆撒き行事

境内の特設舞台から、袴を身に着け、お祓いを受けた年男(女)が、開運招福の福豆を撒くもので、総数三五〇〇袋の豆が撒かれます。(景品の引き替えは午後九時まで)



— 特設舞台からの豆撒き —

#### 豆撒きの時間

一回目 午後六時四〇分

二回目 午後七時三〇分

三回目 午後八時二〇分

三回目の豆撒き終了後、一年間の運を込めた餅(今年は閏年のため三六六袋)を撒きます。

#### ◇ お願い ◇

◎ 火焼神事(ほやしんじ)は、午後五時三〇分から午後九時までです。遅れないようにお持ち下さい。

◎ 旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手などの納め所は社殿前に設置しています。

◎ 神棚・神殿は一つにまとめ、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ち下さい。

◎ 神社関係以外のもの、燃えないものが例年多く持ち込まれ、選別に苦慮しています。神社に関わりのないものは持ち込まないようお願いいたします。

◎ ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。

◎ 人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅処分して下さい。

# 第12回 新年の運だめし Cross Word Puzzle

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者には阿蘇神社オリジナル記念品を10名(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日午後3時必着(ハガキは持参しても可)。  
 送り先 〒859-0401 西彼杵郡多良見町化屋名862 阿蘇神社パズル係  
 (正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行います)

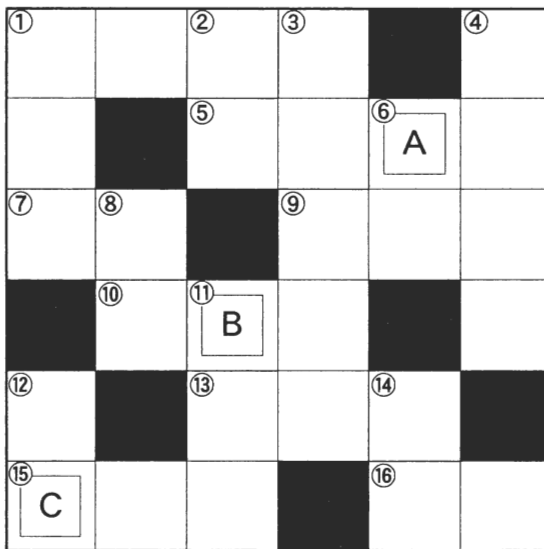
### 《タテのかぎ》

- ①食べ過ぎにご注意。痛くなりますヨ。
- ②登りもあれば下りもあります。
- ③ダイエットしている人は禁止です。
- ④緑が赤や黄に変わります。
- ⑥猿の後からやってきます。
- ⑧木を削って作ります。
- ⑩罰金を取られることもあります。
- ⑫護り神は恵比寿様。
- ⑭夢を食べるといふ動物。

### 《ヨコのかぎ》

- ①豊臣秀吉が築城しました。
- ⑤東京・千葉・埼玉…
- ⑦水中に住んでますが、魚ではありません。
- ⑨深く考えること。
- ⑩支給ではないから、返して下さい。
- ⑬正義の味方が乗ると似合います。
- ⑮腐敗政治の温床にあるものといえれば?
- ⑯飛行機〇〇、入道〇〇。

◎A~Cの文字を並べかえて下さい。  
 ヒント：神社のシンボルです。



- ◇お知らせ◇
- ◎元旦午前零時に樽酒(御神酒)の鏡割りを行い、参拝者に振る舞います。ご自由にお受け下さい。
- ◎新年の御祈願は元旦午前零時より受け付けます。
- 開運招福・家内安全
- 社運隆昌・商売繁昌
- 厄入・厄払・試験合格 他
- ◎昨年まで借用していた阿蘇神社裏の駐車場が、都合により使用できなくなりしました。神社の駐車場は台数に限りがありますので、予めご了承ください。

## 平成16年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入男	41歳	昭和39年生
女	33歳	昭和47年生
厄払男	42歳	昭和38年生
女	34歳	昭和46年生
その他の大厄の年		
男	25歳	昭和55年生
女	19歳	昭和61年生
◎ その他男女とも	22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳	が厄年とされています。

還暦	61歳	昭和19年生
古稀	70歳	昭和10年生
喜寿	77歳	昭和3年生
米寿	88歳	大正6年生
◎ その他、	80歳を傘寿、90歳を牟寿、99歳を白寿、100歳を上寿	といいます。

参賀は人生の節目です。神様に報告を致しましょう。

初詣は阿蘇神社へ!!  
 一年の計は元旦にあり!!  
 ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

### 謹賀新年



阿蘇神社	責任役員	大島 大明
宮司	会長	上原 国雄
副会長	高松 幸男	
森 伸一郎		
前田 信太郎		
木下 保		
富永 喜志雄		
葛西 孝行		
小川 虎彦		
磯本 喬一		
監事(評議員)		
総代		